

頸髄症の手術を受けられる患者様へ

<予定入院期間 24 日間>





1 枚目 (全2枚)

日数	入院当日	手術前日	手術当日		手術後1日目	手術後2~3日目
			手術前	手術後		
治療・処置		カラーのサイズを測ります。床屋で襟足から後頭部くらいにかけて剃毛をします。	朝9時頃、手術部位に印をつけます。	数時間、酸素マスクをつけます。検温をこまめに行います。心電図モニターをつけます	回診時(9時頃)に、創の所に入っている管の排液を捨てます。	回診時に創の診察をします。排液の量・状態によって、創の所に入っている管を抜きます。
薬・点滴		薬剤師から手術当日の点滴について説明があります。 	普段服用する薬がある場合は、その内容により朝分の内服をして戴きます。服用する薬はお伝えします。朝9時頃から点滴をします。	抗生物質の点滴があります。水分補給のための点滴が続きます。 	状況に応じて、水分補給の点滴が続きます。痛みに応じて薬で対処します	中止薬が再開となる場合があります。 
検査	心電図・肺機能・血液・尿・レントゲンなどの検査があります。(外来で済ませている場合もあります)				血液検査があります。	
安静度	看護師が伝えた安静度を守ってください。歩行器や車椅子が必要な方はお申し出ください。			ベッドの上で安静です。創の所に入っている管が抜けないよう、寝返りは看護師が手伝います。	ベッドの上で安静です。体を起こして過ごすことができます。看護師が手伝います。	創の所に入っている管が抜けた後、頸にカラーをつけて車椅子に乗車または歩行器で歩くことが出来ます。看護師と一緒にいきます。
食事		21時以降は食事が摂れません。飴やガムも食べないで下さい。 	食事は摂れません。水分制限は別途指示があります。	食事は摂れません。麻酔がさめたら水分を摂ることが出来ますが、看護師の指示に従ってください。	朝食から食事が摂れます。 	
清潔		シャワーを浴びる、または体を拭いて清潔にします。一人で出来ない方は、看護師が手伝います。	起床後、可能な方はシャワーを浴びます。9時頃までに手術着に着替えます。静脈血栓予防の靴下・T字帯を着用します。		体を拭いて寝巻きに着替えます。	1日おきに体を拭きます。
排泄				尿管が入ってきます。	排便時のみ車椅子でトイレに行けます。	尿管は術後の状況を見て抜き、その後はトイレに行けます。
説明	入院・手術についてオリエンテーションを行います。	麻酔科医師・手術室看護師から説明があります。		主治医より手術の結果等説明があります。		
その他		爪切りをして、マニキュアは落としてください。	入れ歯、メガネ・コンタクトレンズ、補聴器、アクセサリ、ヘアピンなどは外してください。	痛み止めの点滴がされています。痛みが強い場合、その他のお薬を使うことも出来ます。看護師にご相談ください。		

ベッドから離れる際は必ずカラーを着けてください。

頸髄症の手術を受けられる患者様へ

＜予定入院期間 24 日間＞ 2枚目 (全2枚)

	／ ～ ／	／ ～ ／	／ ～ ／
日数	手術後4～7日目	手術後8日目～14日目	手術後15日目～退院
治療・処置	回診時、毎日創の診察をします。	抜糸は手術後14日頃、回診時に行います。	
薬・点滴			
検査	手術後7日目 血液検査とレントゲン撮影をします。		
安静度	歩行状況により、一人で歩行器で歩けます。	歩行状況により、歩行器なしで歩けます	
食事			
清潔		創の状態によって、シャワー浴ができる場合があります。看護師にご相談ください。	
排泄	日中は歩行状況に応じて一人でトイレに行けます。夜間は看護師が付き添います。	夜間も一人でトイレに行けます。	
説明			主治医より退院についての説明があります。 看護師より退院後の注意点に関する説明があります。
その他	日常生活がリハビリになります。状態に応じて、リハビリ室でのリハビリを行う場合があります。		カラーを外して過ごしても大丈夫です。

包括病棟へ移動し、退院に向けてリハビリや準備を進めていきます。